

令和3年度第24回冬季栃木県中学生バドミントン選手権大会 大会規定

【競技規則】

現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則に準じる。ただし、新型コロナウイルス感染防止対策として、以下の通りの得点制限を行う。シャトルは（公財）日本バドミントン協会2種検定合格水鳥球を使用する。

1. すべての試合を15ポイント3ゲームマッチで行う。
延長ポイントは最大21ポイントとする。
2. ゲーム途中でのインターバルの時間は設けない。
ファイナルゲームではどちらか一方の得点が8点になった時点でチェンジエンスのみ行う。
3. ゲーム間のインターバルは通常通り最大2分間設ける。
4. ベスト8決定後は、ファイナルゲームのみ8点オールからスタートする。
その際には、チェンジエンスは行わない。
5. 大会当日の状況に応じて、大会本部の決定により点数制限等を変更することもあり得る。

【競技方法】

1. 各種目ともベスト8決定までトーナメント形式で行う。
2. ベスト8決定後は、トーナメント左ヤマの4人（4組）、右ヤマの4人（4組）でそれぞれ総当たりのリーグ戦を行う。
3. リーグ戦の1位同士で1位決定戦、2位同士で3位決定戦、3位同士で5位決定戦を行う。
4位同士の順位決定戦は行わない。
4. 1位決定戦の敗者と3位決定戦の勝者で2位決定戦を行う。（同一リーグの場合は行わない）
3位決定戦の敗者と5位決定戦の勝者で4位決定戦を行う。（同一リーグの場合は行わない）

【審判上の注意】

1. 次に試合を行う選手が審判を行う。
2. シングルの審判は2名が対角線につき、線審と主審、線審と得点板をそれぞれ兼ねて行う。
ダブルスの審判は4名で、主審と線審2名と得点板で行う。
3. ベスト8決定後のリーグ戦の1・2回目目の試合は、ベスト16で敗退した選手が審判を行う。
3回目目の試合は、左ヤマのリーグの試合の審判を右ヤマのリーグの選手が行い、右ヤマのリーグの試合の審判を左ヤマの選手が行う。
4. 順位決定戦の審判は、リーグ戦4位の選手、順位決定戦がない選手、敗退した選手の有志、本部役員が行う。